

議会閉会中も案件の審査・調査を行う委員会。その活動内容をお知らせします。



▲蓮池学童保育所「プチクラブ」



▲地域行事にも参加している学童保育所

厚生教育

学童保育事業を協議

■5月20日開催

学童保育所の設置・管理条例案

福祉グループより「学童保育所の設置及び管理に関する条例案」について説明を受けた後、質疑を行った。

●主な説明内容
少子化傾向であるが、社会情勢の変化に伴い共働きの増え、保育人数は増える傾向にある。

平成4年から「播磨町学童保育連絡協議会」として保護者が運営を行ってきたが、平成20年に、これ以上続けるのは困難との意向を受け約2年間協議してきた。

条例案は、平成24年4月から町が責任を持って事業を行うための内容となっている。

●主な質疑
Q 本年3月議会定例会に提案された条例案は、不

備があるとして否決となった。その後の見直しは、A 条例案について法制担当グループと協議したが、3月定例会に提出した条文などに問題はなかった。

Q 休所日・開所時間・利用料金などの協議は、A 学童保育連絡協議会に同意を得ている。

Q 利用の許可も指定管理者が行うのか。A 平成15年地方自治法の改正により、指定管理者に「許可権限を付与できる」とされており、問題はない。

請願と陳情

町政について実現してほしいことなどを議会に要望する制度として請願・陳情があります。

請願の場合には議員（1人以上）の紹介が必要で、本会議、常任委員会などで慎重に審議・審査した後、結論を出します。陳情は、議長が審議する必要があると認めた場合、請願と同様の取り扱いをします。

▶提出方法 A 4・縦長の用紙に邦文を用いて、提出年月日・住所・氏名（法人の場合には、その名称と代表者の氏名）・件名・趣旨・項目を明記し、氏名の右側に押印のうえ議長あてに提出します。書式は、播磨町議会ホームページからダウンロードできます。

▶提出時期 随時受け付けをしていますが、定例会の開会前に行われる議会運営委員会の2日前の午後5時までに受理されたものは、原則としてその定例会で審議します。

☞記入の仕方など詳しくは議員または議会事務局へ

自治功勞者表彰

杉原前議員・松本前議員
小西前議員・永谷前議員・藤田議長に

5月31日（火）、神戸市内で開かれた兵庫県町議会議長会第62回定期総会において、杉原延享前議員（77歳、4期）、そして小西茂行前議員（63歳、5期）と松本かをり前議員（73歳、5期）の3人が同会会長から自治功勞者表彰を受けました。この表彰は、地方自治の振興発展や議会権威の向上に尽くされた功績に対して贈られるものです。

また、同総会で杉原延享前議員、永谷修前議員（61歳、4期）、藤田博議長（62歳、5期目）の3人に、全国町村議会議長会会長から平成22年度自治功勞者表彰が伝達されました。

病院開設は住民に配慮を

公明党
宮尾 尚子



三村理事 ▲病院で対応されるべきもの



▲住民のプライバシーは守られるのだろうか

問 はりま病院が7月に開業。周辺には民家もあり、プライバシー保護のためには町としても最大限の努力を払うべきでは。

答 新築移転計画や、建築工事については近隣説明会を開催し地元と理解と協力をお願いしている。

問 話し合いの結果、希望通りに完了したのか確認できず、不安が拡大している。

答 病院は、建築基準法において問題はないと判断されている。

問 町が望んで誘致した

病院である。数軒のお宅では丸見えになる個所もあるようで、何らかの対策を講じるべきでは。

答 法令などに従い、病院側で対応されるものと考えている。

○職員の内紀粛正徹底は
副町長 ▲私生活の領域までは難しい

問 職員の飲酒問題は、3月議会でも取り上げられた。その時に調査をするべきでは。

答 私生活上の領域までは徹底できず、難しい。

問 しっかりと調査をしてプレス発表をし、謝罪をきちんとしておけば新聞紙上を騒がせることもなかったはずでは。

答 3月の段階では、捜査中で報告できなかった。

問 服務規律の一貫教育や指導が常態的に行われていれば、今回の飲酒による事故は回避できたのでは。

答 今後は、公務員としての倫理観の育成に努め、飲酒運転撲滅に取り組む研修などを実施していく。

自治会活動の支援策は

新公会代表
福原 隆泰



耕田理事 ▲一覧表にまとめ周知



▲自治会会長での研修の様子

問 住民グループや福祉グループなど所管が多岐に渡る各種の補助メニューを利用しやすく一元化できないか。

答 一覧表にまとめるかたちで、自治会会長などで案内している。組織改革に合わせて、窓口の一元化も検討する。

問 自治会の要望に応じ、使い勝手を優先し補助内容を決め、一括交付金として補助できないか。

答 それぞれの補助事業には過去の背景や経緯もあり、現行のままの形を

自治会との対話再開

町長 ▲行政懇談会の予定なし

問 地域の課題を把握し、直接要望を聞くために、自治会との行政懇談会を再開する考えはないか。

答 タウンミーティングで情報を集め要望などの情報に不足はないので、自治会との行政懇談会開催の予定はない。自治会から要望があればタウンミーティングで応じる。

個人情報の適切な活用

耕田理事 ▲緊急時は役場も提供

問 消費者庁も注目する箕面市のような先進事例を参考に、適切な個人情報の活用法を促す名簿づくりの認証制度など、条例化を前向きに検討できないか。

答 災害時など緊急、かつやむを得ない場合に限り、町保有の情報を提供できるようにする。活用法は自治会長向けに研修会を開催する。

継続したい。